



# ONTAP Cloud 9.3リリースノート

## ONTAP Cloud

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

ONTAP Cloud 9.3リリースノート	1
ONTAP Cloud 9.3 の新機能	2
AWS での ONTAP Cloud HA の機能拡張	2
AWS で EU（パリ）リージョンがサポートされます	2
Azure Premium ディスクで書き込みパフォーマンスを向上	2
ONTAP Cloud Premium および BYOL における容量制限の引き上げ Azure	2
Azure US Gov リージョンのサポート	2
SVM ディザスタリカバリのサポート	3
アップグレードに関する注意事項	3
サポートされている構成	4
ONTAP Cloud for AWS	4
ONTAP Cloud for Azure	4
ストレージの制限	6
AWS の ONTAP Cloud に対する物理ストレージの制限	6
Azure の ONTAP Cloud に対する物理ストレージの制限	6
論理ストレージの制限	7
iSCSI ストレージの制限	8
既知の問題	9
既知の制限	10
一般的な制限事項	10
最大同時レプリケーション処理数	10
ソフトウェアの更新を Cloud Manager で完了しておく必要があります	10
暗号化は、ブートディスクとルートディスクではサポートされていません	10
ONTAP クラウドの導入をクラウドから変更しないでください プロバイダのコンソール	10
ディスクとアグリゲートは Cloud Manager で管理する必要があります	10
SnapManager のライセンスに関する制限	10
サポートされない ONTAP 機能です	11
AWS での ONTAP クラウドに関する既知の制限事項	11
Amazon CloudWatch から誤ったアラームが報告されます	11
ONTAP Cloud HA ペアでは、ストレージのギブバックの即時実行はサポートされません	11
AWS GovCloud（米国）地域の制限	12
EBS ボリュームの接続解除と再接続はサポートされていません	12
暗号化の制限	12
法的通知	13
著作権	13
商標	13
特許	13
プライバシーポリシー	13
オープンソース	13

# ONTAP Cloud 9.3リリースノート

# ONTAP Cloud 9.3 の新機能

ONTAP Cloud 9.3 には、いくつかの新機能と機能拡張が含まれています。

## AWS での ONTAP Cloud HA の機能拡張

9.3 リリースでは、AWS エコシステム内でのネットワークの不具合や一時的なレイテンシの増加に対応し、このようなイベントが発生した場合の顧客データの可用性を確保するために、ONTAP クラウド HA ペアの耐障害性に対応しています。

## AWS で EU（パリ）リージョンがサポートされます

ONTAP クラウドは、AWS の EU（パリ）リージョンでサポートされるようになりました。このリージョンでサポートされているインスタンスタイプに基づいて、EU（パリ）リージョンで次の ONTAP クラウド構成を使用できます。

- ONTAP クラウド標準（r4.xlarge）
- ONTAP クラウドプレミアム（r4.2xlarge）
- ONTAP クラウド BYOL（r4.xlarge および r4.2xlarge）

## Azure Premium ディスクで書き込みパフォーマンスを向上

Azure で Premium Storage ディスクを使用すると、ONTAP Cloud の書き込みパフォーマンスが向上します。この機能拡張は、ONTAP クラウドの Standard、Premium、および BYOL でサポートされています。



DS3\_v2 仮想マシンタイプを使用している場合、書き込みパフォーマンスの拡張はサポートされません。

## ONTAP Cloud Premium および BYOL における容量制限の引き上げ Azure

DS5\_v2 または DS14\_v2 仮想マシンタイプを使用している場合、ONTAP クラウドプレミアムおよび ONTAP クラウド BYOL の容量制限は、2 倍の 252TB になりました。



この変更は、Azure 仮想マシンあたりの使用可能なディスク数が増加したために可能です。アグリゲートあたりの最大容量は変更されません。

## Azure US Gov リージョンのサポート

次の Azure リージョンに Cloud Manager と ONTAP Cloud BYOL を導入できるようになりました。

- アリゾナ州、米国政府
- 米国テキサス州知事
- 米国バージニア州知事

これらのリージョンに Cloud Manager を導入するには、Azure Marketplace で CentOS 7.3 仮想マシンを作成し、ネットアップサポートサイトから Cloud Manager インストーラをダウンロードして、ソフトウェアをインストールする必要があります。Cloud Manager の実行後、これらのリージョンでは、他のリージョンと同様に ONTAP Cloud BYOL システムを導入できます。

## SVM ディザスタリカバリのサポート

ONTAP クラウドでは、1つのデータ提供用 SVM と1つのディザスタリカバリ用デスティネーション SVM がサポートされます。ソース SVM で障害が発生した場合は、デスティネーション SVM をデータアクセス用にアクティブ化できます。

SVM ディザスタリカバリは、ソース SVM からデスティネーション SVM への SVM のデータと設定の非同期ミラーリングです。ソース SVM が使用できなくなった場合は、デスティネーション SVM をデータアクセス用に簡単にアクティブ化できます。



Cloud Manager では、SVM ディザスタリカバリのセットアップやオーケストレーションはサポートされません。また、追加の SVM ではストレージ関連のタスクをサポートしません。SVM ディザスタリカバリには、System Manager または CLI を使用する必要があります。

["SVM ディザスタリカバリ設定エクスペンスガイド"](#)

["『SVM ディザスタリカバリエクスペンスガイド』"](#)

## アップグレードに関する注意事項

- Cloud Manager からのアップグレードが完了している必要があります。System Manager または CLI を使用して ONTAP Cloud をアップグレードしないでください。これを行うと、システムの安定性に影響を与える可能性
- ONTAP Cloud 9.2 から ONTAP Cloud 9.3 にアップグレードできます。
- シングルノードシステムのアップグレードでは、I/O が中断されるまで最大 25 分間システムがオフラインになります。
- HA ペアのアップグレードは無停止で、I/O が中断されません。無停止アップグレードでは、各ノードが連携してアップグレードされ、クライアントへの I/O の提供が継続されます。

# サポートされている構成

ONTAP クラウドは、AWS と Azure で 2 つの料金プラン（従量課金制、お客様所有のライセンスを使用（BYOL））から選択できます。従量課金制の場合は、Explore、Standard、Premium の 3 つの構成から選択できます。

## ONTAP Cloud for AWS

AWS では、ONTAP クラウドを単一システムまたは HA ペアとして導入できます。

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
EC2 インスタンスタイプ	m4.xlarge	<ul style="list-style-type: none"><li>m4.2xlarge</li><li>R4.xlarge（R4.xlarge）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>c4.4xlarge</li><li>c4.8xlarge を使用する場合</li><li>m4.mc</li><li>r4.2xlarge</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>c4.4xlarge</li><li>c4.8xlarge を使用する場合</li><li>m4.xlarge</li><li>m4.2xlarge</li><li>m4.mc</li><li>R4.xlarge（R4.xlarge）</li><li>r4.2xlarge</li></ul>
基盤となるストレージ	汎用 SSD、プロビジョニング済み IOPS SSD、スループット最適化 HDD、コールド HDD を、ディスクあたり最大 16TiB で提供します			
ライセンス容量の制限	2TiB	10TiB	368TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

注：

- 従量課金制の構成は GovCloud（US）ではサポートされません。
- EC2 インスタンスタイプを選択する場合は、そのインスタンスが共有インスタンスか専用インスタンスかを指定できます。
- ONTAP クラウドの Standard、Premium、および BYOL で EBS SSD を使用すると、書き込みパフォーマンスが向上します。
- データ階層化は、ONTAP クラウドの Standard、Premium、および BYOL でサポートされています。
- データ階層化を有効にすると、システムの容量制限は同じままになります。容量の制限には、ディスクとオブジェクトストレージの両方が含まれます。
- AWS リージョンのサポートについては、を参照してください "[Cloud Volume グローバルリージョン](#)"。

## ONTAP Cloud for Azure

Azure では、ONTAP クラウドをシングルノードシステムとして導入できます。

	調査	標準	Premium サービス	BYOL
仮想マシンのタイプ	DS3_v2 の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS4_v2</li> <li>• DS13_v2 の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS5_v2 の場合</li> <li>• DS14_v2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS3_v2 の場合</li> <li>• DS4_v2</li> <li>• DS5_v2 の場合</li> <li>• DS13_v2 の場合</li> <li>• DS14_v2</li> </ul>
基盤となるストレージ	標準 HDD 管理ディスク、標準 SSD 管理ディスク、およびプレミアム SSD 管理ディスク（ディスクあたり最大 32 TiB）			
ライセンス容量の制限	2TiB	10TiB	368TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

注：

1. ONTAP Cloud Standard、Premium、および BYOL で Azure Premium Storage ディスクを使用している場合は、書き込みパフォーマンスの向上がサポートされますが、DS3\_v2 仮想マシンタイプを使用している場合はサポートされません。
2. Azure リージョンのサポートについては、を参照してください "[Cloud Volume グローバルリージョン](#)"。

# ストレージの制限

ONTAP クラウドには、安定した運用を実現するためにストレージ構成の制限があります。最大のパフォーマンスを得るためには、システムを最大値で構成しないでください。

次のセクションでは、アグリゲート、ボリューム、LUN、および関連するストレージオブジェクトの制限について説明します。ONTAP クラウドシステムの最大容量はモデルによって異なることに注意してください。物理容量の上限が小さい ONTAP クラウド構成では、サイズやディスクの制限に一部到達できません。

## AWS の ONTAP Cloud に対する物理ストレージの制限

物理ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* アグリゲートとディスク *	アグリゲートの最大数	HA の場合は 1 ノードあたり 18 のシングルノード構成の場合は 34 設定 <sup>^1</sup>
	最大アグリゲートサイズ	96TiB の物理容量
	アグリゲートあたりのディスク数	1-6 <sup>2</sup>
	最大ディスクサイズ	16TiB
	すべてのアグリゲートの最大データディスク数 <sup>3</sup>	シングルノード構成の場合は 34 が HA のノードあたり 31 個 設定
* RAID グループ *	アグリゲートあたりの最大数	1.

注：

1. HA ペアの両方のノードに 18 個のアグリゲートを作成することはできません。これは、作成するとデータディスクの制限を超えてしまうためです。
2. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。
3. データディスクの上限は、ユーザデータが格納されたディスクに固有です。各ノードのブートディスクとルートディスクはこの制限に含まれていません。

## Azure の ONTAP Cloud に対する物理ストレージの制限

物理ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* アグリゲートとディスク *	アグリゲートの最大数	63
	最大アグリゲートサイズ	200TiB の物理容量
	アグリゲートあたりのディスク数	1-12 <sup>1</sup>
	最大ディスクサイズ	32TiB
	すべてのアグリゲートの最大データディスク数 <sup>2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DS3_v2 : 15</li> <li>• DS4_v2 : 31</li> <li>• DS5_v2:63</li> <li>• DS13_v2 : 31</li> <li>• DS14_v2 : 63</li> </ul>
* RAID グループ *	アグリゲートあたりの最大数	1.

注：

1. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。
2. データディスクの上限は、ユーザデータが格納されたディスクに固有です。各ノードのブートディスクとルートディスクはこの制限に含まれていません。

## 論理ストレージの制限

論理ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* Storage Virtual Machine (SVM) *	ONTAP クラウドの最大数 (HA ペアまたはシングルノード)	データ提供用 SVM × 1、ディザスタリカバリ用にデスティネーション SVM × 1ソース SVM で障害が発生した場合は、デスティネーション SVM をデータアクセス用にアクティブ化できます。 <sup>1</sup> この 1 つのデータ提供用 SVM は、ONTAP クラウドシステム (HA ペアまたはシングルノード) 全体にまたがります。
* ファイル *	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	ボリュームサイズは最大 20 億個です
* FlexClone ボリューム *	クローン階層の深さ <sup>2</sup>	499
* FlexVol ボリューム *	ノードあたりの最大数	500
	最小サイズ	20 MB
	最大サイズ	AWS : アグリゲートのサイズによります。 <sup>3</sup> Azure : 100TiB
* qtree *	FlexVol あたりの最大数	4,995
* Snapshot コピー *	FlexVol あたりの最大数	255

注：

1. Cloud Manager では、SVM ディザスタリカバリのセットアップやオーケストレーションはサポートされません。また、追加の SVM でストレージ関連のタスクをサポートしていません。SVM ディザスタリカバリには、System Manager または CLI を使用する必要があります。
  - "SVM ディザスタリカバリ設定エクスペンスガイド"
  - "『SVM ディザスタリカバリエクスペンスガイド』"
2. クローン階層の深さは、1つの FlexVol から作成できる、ネストされた FlexClone ボリュームの最大階層です。
3. この構成のアグリゲートの raw 容量は 96TiB に制限されているため、100TiB 未満がサポートされます。

## iSCSI ストレージの制限

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* LUN*	ノードあたりの最大数	1,024
	LUN マップの最大数	1,024
	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	512
* igroup 数 *	ノードあたりの最大数	256
* イニシエータ *	ノードあたりの最大数	512
	igroup あたりの最大数	128
* iSCSI セッション *	ノードあたりの最大数	1,024
* LIF *	ポートあたりの最大数	32
	ポートセットあたりの最大数	32
* ポートセット *	ノードあたりの最大数	256

# 既知の問題

既知の問題は、このリリースの製品を正常に使用できない可能性のある問題を特定します。

このリリースでは、ONTAP クラウド固有の既知の問題はありません。

ONTAP ソフトウェアの既知の問題は、で確認できます ["ONTAP リリースノート"](#)。

# 既知の制限

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限事項を慎重に確認してください

## 一般的な制限事項

AWS および Azure で ONTAP クラウドを使用する際には、次の制限事項が適用されます。

### 最大同時レプリケーション処理数

Cloud Volumes ONTAP で同時に実行できる SnapMirror 転送または SnapVault 転送の最大数は、インスタンスのタイプやマシンのタイプに関係なく、ノードあたり 100 です。

### ソフトウェアの更新を **Cloud Manager** で完了しておく必要があります

Cloud Volumes ONTAP のアップグレードが Cloud Manager から完了している必要があります。System Manager または CLI を使用して Cloud Volumes ONTAP をアップグレードしないでください。これを行うと、システムの安定性に影響を与える可能性があります

### 暗号化は、ブートディスクとルートディスクではサポートされていません

すべての新しいボリュームまたはディスクを自動的に暗号化するオプションをクラウドプロバイダから有効にした場合は、ONTAP クラウドの導入時に一時的に無効にする必要があります。配置しないと、ONTAP クラウドの導入に失敗します。ONTAP クラウドシステムのブートディスクとルートディスクでは暗号化がサポートされていません。

### ONTAP クラウドの導入をクラウドから変更しないでください プロバイダのコンソール

クラウドプロバイダのコンソールから ONTAP クラウドの構成を変更すると、サポートされない構成になります。Cloud Manager で作成および管理する ONTAP Cloud リソースに対する変更は、システムの安定性および Cloud Manager によるシステムの管理機能に影響を及ぼす可能性があります。

### ディスクとアグリゲートは **Cloud Manager** で管理する必要があります

すべてのディスクとアグリゲートは、Cloud Manager から直接作成および削除する必要があります。これらのアクションは、別の管理ツールから実行しないでください。これにより、システムの安定性が低下し、将来ディスクを追加できなくなる可能性があります。また、クラウドプロバイダの冗長料金が発生する可能性もあります。

### SnapManager のライセンスに関する制限

SnapManager のサーバ単位のライセンスは、ONTAP クラウドでサポートされています。ストレージシステム (SnapManager スイート) 単位のライセンスはサポートされません。

## サポートされない **ONTAP** 機能です

ONTAP クラウドでは、次の機能はサポートされていません。

- アグリゲートレベルのインライン重複排除
- アグリゲートレベルのバックグラウンド重複排除
- ディスクメンテナンスセンター
- ディスク完全消去
- Fibre Channel (FC ; ファイバチャネル)
- Flash Pool の機能です
- FlexCache
- FlexGroup ボリューム
- Infinite Volume
- インターフェイスグループ
- ノード内の LIF のフェイルオーバー
- MetroCluster
- マルチテナンシー (サポートされるデータ提供用 SVM は 1 つだけ)
- NetApp Volume Encryption の略
- RAID 4、RAID-DP、RAID-TEC (RAID 0 のサポート)
- サービスプロセッサ
- SnapLock
- SnapMirror Synchronous
- VLAN

## **AWS** での **ONTAP** クラウドに関する既知の制限事項

次の既知の制限事項は、AWS の ONTAP クラウドに影響します。

### **Amazon CloudWatch** から誤ったアラームが報告されます

ONTAP クラウドはアイドル状態のときに CPU を解放しないため、Amazon CloudWatch は使用率を 100% と認識するため、EC2 インスタンスに CPU 使用率の上昇を警告します。このアラームは無視してかまいません。ONTAP statistics コマンドを実行すると、CPU の実際の使用状況が表示されます。

### **ONTAP Cloud HA** ペアでは、ストレージのギブバックの即時実行はサポートされません

ノードがリブートしたら、ストレージを戻す前に、パートナーがデータを同期する必要があります。データの再同期にかかる時間は、ノードが停止している間にクライアントが書き込んだデータの量、およびギブバックの実行中のデータの書き込み速度によって異なります。

## AWS GovCloud（米国）地域の制限

- 任意の AWS GovCloud（US）リージョンで Cloud Volumes ONTAP インスタンスを起動する場合は、Cloud Manager が AWS GovCloud（US）リージョンに導入されている必要があります。
- ONTAP Cloud 従量課金制の AMI は、AWS GovCloud（US）リージョンではサポートされていません。
- AWS GovCloud（US）リージョンに導入されている場合、Cloud Manager は、Microsoft Azure 構成用の NetApp プライベートストレージまたは SoftLayer 構成用の NetApp プライベートストレージ内の ONTAP クラスタを検出できません。

## EBS ボリュームの接続解除と再接続はサポートされていません

ONTAP クラウドインスタンスから EBS ボリュームを接続解除して別の ONTAP クラウドインスタンスに再接続することはできません。インスタンス間でデータをレプリケートするには、Cloud Manager を使用する必要があります。

## 暗号化の制限

- ONTAP クラウド暗号化が有効になっているシステムでは、LUN の移動はサポートされません。
- ONTAP Cloud は、作成に失敗したアグリゲートの暗号化キーをキー管理ツールに送信します。

キー管理ツールからキーを手動で削除する必要があります。

# 法的通知

著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

## 著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

## 商標

NetApp、NetApp のロゴ、および NetApp の商標ページに記載されているマークは、NetApp, Inc. の商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

## 特許

ネットアップが所有する特許の最新リストは、次のサイトで入手できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

## プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

## オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

- ["ONTAP Cloud 9.3 の通知です"](#)
- ["ONTAP 9.3 での注意"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。